

新学習指導要領実施について

【小学校】1学期に新学習指導要領による初めての学習評価を実施 → **確認・改善**

1学期の評価は適切だったのかな...?

【中学校】半年後に新学習指導要領全面実施 → **各教科ごとの学習評価の周知**

担当している教科は3観点でどう評価するのかな...?

悩みを一人で抱えることがないように、校内研修で学習評価を支えましょう!

小学校の研修例

1学期の評価規準や評価方法について、**先導教科を中心に確認し合う。**

【確認事項(例)】

観点\学期		1	2	3
国語	知識・技能	A	3	
	思考・判断・表現	B		
	主体的に学習に取り組む態度	B		
	評定	2	4	

- 「『十分満足できる』状況(A)」の判断について
- 「主体的に学習に取り組む態度」の規準について
- 「観点別学習状況の評価」について
- 「評定」の決定方法について
- 補助簿の付け方やテストの結果集計について

こんなことはありませんか?

- 同じ学年なのに、教師によって観点の重みが違う
- テストだけで判断している
- 挙手や宿題提出の回数で判断している
- 判断材料が不明確(補助簿を作成していない)

評定の適切な決定方法等については、各学校において定めることになっています。実際に行った評価をもとに、再確認してみましょう。

- 評価に関する実践事例を蓄積し共有していく。
- 評価結果についての検討を通じて評価に係る教師の力量の向上を図る。
- 児童や保護者に対して、評価に関する情報をより積極的に提供し理解を図る。

中学校の研修例

各教科等の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を見比べる。

目次

第1編 総説

第1章 平成29年改訂を踏まえた学習評価の改善

第2章 学習評価の基本的な流れ

第1編は全教科共通です。「評定」(P7)や「3観点」(P9)、「内容のまとめりごとの評価規準」(P14)の基本的な考え方について確認しましょう。

第2編 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

- 1 中学校〇〇科の「内容のまとめり」
- 2 中学校〇〇科における「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順

「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係や、観点ごとのポイントについて、各教科の共通点や相違点を確認しましょう。

第3編 単元(題材)ごとの学習評価について(事例)

第1章 「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方を踏まえた評価規準の作成

- 1 本編事例における学習評価の進め方について
- 2 単元(題材)の評価規準の作成のポイント

第2章 学習評価に関する事例について

- 1 事例の特徴
- 2 各事例概要一覧と事例

事例1 キーワード □□□
「△△△…」(第〇学年)

事例2
事例3
事例4

事例を参考に、教科会で評価規準や評価方法の具体について理解を深めます。指導案の形式についても参考にすることができます。

教科によって単元と題材の違いがあるんですね。教科で比べることで特徴が明確になりました!

専門教科を見比べることの他に、特別活動や総合的な学習の時間等を共通理解することも考えられます。

お手元にありますか?

まずは、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を手元に準備することがスタートです。

令和2年度中学校教育課程研究会(代替・オンライン)でも使用します。特に、自分の専門教科は予め目を通しておきましょう。

小中ともに、こちらからダウンロードできます